

## 民俗芸能伝承に係る取組状況

|  |  |              |               |
|--|--|--------------|---------------|
| (ふりがな)<br>民俗芸能名  | (とよさとかがら )<br>豊郷神楽   |              |               |
| 保存団体名  | 豊郷神楽保存会  |              |               |
| 保存会員数の推移<br>(うち小・中・高生)   | H20. 10  | H25. 10      | H30. 10       |
|  | 15人<br>( 0人)   | 13人<br>( 0人) | 59人<br>( 25人) |
| 子どもたちに対する伝承活動の内容<br><br><div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>これまでの経過<br/>取組内容<br/>取組体制<br/>学校との連携<br/>保護者との連携<br/>指導方法<br/>指導会場<br/>指導頻度<br/>などを記入</p> </div> | <p>豊郷神楽は、網走市豊郷地区の入植者達が厳しい風土の生活の中で神楽を踊り、収穫を神に感謝しお互いの活力を見出して行こうと、明治42年(1909年)に西藻琴神社(現・豊郷神社の前身)に奉納して以来、109年もの間、途切れることなく神社に舞を奉納している伝統芸能である。</p> <p>○取組内容</p> <p>網走市立東小学校児童に、平成9年から体験学習として行われていた豊郷神楽は、総合的な学習の時間が学校の教育課程に位置づけられてから、第6学年における「伝統を受け継ごう～ぼくたちの豊郷神楽」へと形を変えて引き継がれてきた。</p> <p>これまで舞を体験するだけでなく、東小学校校区である豊郷地区に百有余年前から伝わる伝統芸能「豊郷神楽」について調べ、伝統を守ることにに対する保存会の方々の願いや舞に込められた思いに触れ、自分たちが暮らす地域の歴史や人から人へ脈々と受け継がれる文化と絆について学習を続けている。</p> <p>○取組み体制(指導方法・会場・頻度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同校を会場に指導(平成30年度実績・後期予定)</li> <li>保存会から指導者を派遣し舞・篠笛・太鼓の指導。</li> </ul> |              |               |

前期（5-7月）延べ10日間、33人派遣  
後期（10-2月）延べ13日間、42人派遣

・豊郷公民館を会場に小・中・高生・大人の合同練習  
6月延べ5日間、小35人中・高30人大人60人

・豊郷神楽保存会（小・中学生）としての活動  
平成26年から会員とともに、豊郷神社祭（毎年8月1日）で12幕からなる舞の2幕を小・中学生が奉納している。

さらに、毎年2月に開催される「あばしりオホーツク流水まつり」のオープニングイベントとして、小学生が郷土芸能「豊郷神楽」を披露している。

これら学校授業以外の課外活動については、保護者から参加同意を得ると共に、小・中学校側の協力も戴きながら保存会・保護者連絡会連名で取り組みを進めている。

・小学校の取り組みと成果発表

同校の「総合的な学習の時間」の中で学んだ成果を学芸会で披露し、保護者や来場者に「豊郷神楽」の素晴らしさを伝えるとともに、各種行事に参加し、観客からの温かな声援に地域の伝統を継承していく心を育んでいる。

#### ○学校との連携

総合的な学習の時間に保存会から指導者を派遣することや、学芸会等の学校行事で神楽にかかる、衣装・道具に不足（児童数の増減）が生ずる時は、保存会の衣装・道具の貸与などで対応している。

課外活動となる各種行事への参加の進め方についても、小・中学校側と十分に話し合いを行い、双方の役割を確認し協力や支援を戴くなどの連携を図っている。

#### ○保護者との連携

小学生と卒業生（OB）の中学生が課外事業へ参加し易い環境を整えるため、平成28年6月に「豊郷神楽保

|                       |   |
|-----------------------|---|
|                       | <p>護者連絡会」を組織する。</p> <p>各種事業への参加案内を保存会会長と連名で行うなど、事業参加への理解や児童・生徒の送迎・衣装の整理・道具の運搬等の協力を仰いでいる。</p>  |
| <p>伝承活動を継続する上での工夫</p> | <p>○新会員の公募と参加者範囲拡大の取り組みについて</p> <p>神楽の伝承者は、これまで成人男子となっていたが、後継者不足で継続していくことが困難な状況となる。平成26年より参加者範囲を女性・小学生・中学生及び高校生まで拡大をして、29年までの会員募集で22名の増員となる。(大人20名、中学生1名、高校生1名)。学校側と保護者の理解をいただき、小・中学生にも平成26年から保存会事業に課外活動として参加をしていただくことになった。</p> <p>会員数 59名 (平成30年10月現在)</p> <p>内訳 小学生10人・中学生14人<br/>高校生 1人・大人34人</p> <p>○保存会運営と衣装及び道具整備資金について</p> <p>保存会運営の財源としては、ボランティア団体・事業所・個人の寄付とイベントなどへの出演謝礼金が主なものであるが、会員の増により、経費も増加しており、資金の確保に努めている。衣装・道具の更新や補充等で多額の費用を要するときは、補助金等を活用して整備を行っている。</p> <p>平成 8年一般コミュニティ助成事業<br/>平成29年一般コミュニティ助成事業</p> |
| <p>伝承活動を継続する上での課題</p> | <p>「豊郷神楽」を保存継承するために、新会員の募集をしてから5年になるが、会員の中には転勤や結婚等で地元を離れ、道内外に転出して行く者も多い。このことを機に退会するのではなく生涯会員である絆を強め、地元会員と同様に舞や笛・太鼓の技術を習得していく仕組の検討や、底辺の拡大を図るためにも東小学校だけでなく、他に要望のある学校へ出前授業として派遣する指導者や保存会運営のリーダー養成が急務である。</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>発表機会<br/> ※年間の発表回数と発表会場を記入<br/> (過去3年分)</p> | <p>○平成28年 5回</p> <p>2月 あばしりオホーツク流氷まつり(小学生)<br/> 流氷まつり特設ステージ</p> <p>8月 豊郷神社祭奉納神楽(小・中・高・大人)<br/> 豊郷神社境内神楽殿</p> <p>8月 北海道茶道連絡協議会研修会(小学生)<br/> エコーセンター</p> <p>8月 大型観光客船「ぱしふっくびいなす」網走港入港<br/> 歓迎公演(中・高・大人) 網走港</p> <p>11月 東小学校学芸会(小学生)</p> <p>○平成29年 6回</p> <p>2月 あばしりオホーツク流氷まつり(小学生)<br/> 流氷まつり特設ステージ</p> <p>2月 糸満・網走伝統芸能交流会(小・中・大人)<br/> エーサーと神楽体験(エコセンター)<br/> スノーモービルとそり遊び(原生牧場)</p> <p>6月 客船「飛鳥Ⅱ」網走港入港歓迎公演<br/> (中・高・大人) 網走港</p> <p>8月 豊郷神社祭奉納神楽(小・中・高・大人)<br/> 豊郷神社境内神楽殿</p> <p>11月 ほっかいどう子ども民俗芸能成果発表会<br/> (小・中学生)東川町農村環境改善センター</p> <p>11月 東小学芸会(小学生)</p> <p>○平成30年 3回</p> <p>2月 あばしりオホーツク流氷まつり(小学生)<br/> 流氷まつり特設ステージ</p> <p>8月 豊郷神社祭奉納神楽(小・中・高・大人)<br/> 豊郷神社境内神楽殿</p> <p>11月 東小学芸会(小学生)</p> |
|--|--|

## 入植者の思いを今に

豊郷神楽は、明治39年宮城県から入植した人たちの中に伊勢神宮に伝わる「太々神楽」と「仙台神楽」の手ほどきを受けた人がおり、この人を中心に神楽踊りに興じ、同42年（1909年から）神社に奉納して以来、開拓者の精神を受け継ぎ農業生産の意欲高揚と、地域の人達の心の安らぎとして、戦時中も含め、過去一度も休むことなく継続し108年目の奉納となります。

神楽は、神楽殿の四方を清め、悪魔を払い、種を蒔き、海で漁、野山で狩り・豊作を祈り、実りを感謝するという内容でありまして、12幕の舞から構成されております。

平成26年から、網走市立東小学校で豊郷神楽を学ぶ児童や卒業生と保存会会員が一緒になって、神楽を奉納しております。

4月から7月末までの長期間、合同練習を行いまし、本日は、8幕の舞に総勢49名（児童15名・生徒5名・会員29名）の出演となります。

郷土芸能の伝承に取り組む児童・生徒や新会員に、皆様のご支援とご声援を宜しくお願いいたします。

## 豊郷神楽・神社奉納プログラム



■日時 平成29年8月1日（火曜日）

○ 宵 宮 午後5時30分  
○ 神楽奉納 午後6時30分

■場所 豊郷神社境内 神楽殿

主催 豊郷神楽保存会

# 奉 納 神 楽 演 目

| 順 番            | 演 目       | 内 容                                | 舞 手                    | 伴 奏 者   |
|----------------|-----------|------------------------------------|------------------------|---|
| 第 1 幕          | 幣 舞       | 舞台を清め祓う。<br>(東小学校5年生・6年生の構成)       | 木村紗彩(6年) 林梢幸(6年)       | 大太鼓・相原沙南(6年) 小太鼓・立石優里奈(6年)<br>笛・岩本彩那(6年) 神馬友里恵(6年) 林田幸奈(6年) 宗像莉伽(6年)<br>山田怜奈(6年) 横山恵人(6年) 井上祐一(5年) 高橋虎太郎(5年) 高橋龍之介(5年) 千葉祐奈(5年) 林一途(5年) |
| 第 2 幕          | 片剣舞       | 剣をもって天と地を清める。                      | 鈴木公美                   | 大太鼓・相原耕治 小太鼓・福岡繁<br>笛・阿部篤志・湯浅崇・清水敦・佐々木章・増田由香  |
| 御 花 披 露 (水野祥之) |           |                                    |                        |   |
| 第 3 幕          | 逆 鉾       | 鉾をもって悪霊を鎮める。                       | 井上広行 石川博幸              | 大太鼓・鎌田日向 小太鼓・福岡繁<br>笛・阿部篤志・佐々木章・千葉梨沙・堀田智子・井上晴香  |
| 第 4 幕          | 四方舞       | 四方の悪魔を祓い舞の場を清める<br>(第四中学校生徒と会員の構成) | 柿崎桃花(中1) 鈴木公美          | 大太鼓・三条大夢(中3) 小太鼓・金澤郁弥(中1)・<br>笛井上晴香(中1)・三条憲彦(中1) 千葉梨沙・増田由香・鎌田和恵   |
| 御 花 披 露 (水野祥之) |           |                                    |                        |   |
| 第 5 幕          | 幣 舞       | 舞台を清め祓う。                           | 三原徹大・鈴木聡               | 大太鼓・山崎亮 小太鼓・立崎総一<br>笛・阿部篤志・佐々木章・鎌田和恵・市原聖奈・井上晴香  |
| 第 6 幕          | 三剣舞       | 三人の舞手が剣をもって悪魔を祓う。                  | 石川博幸・鈴木公美・井上広行         | 大太鼓・相原耕治 小太鼓・福岡繁<br>笛・阿部篤志・湯浅崇・清水敦・堀田智子・千葉梨沙  |
| 御 花 披 露 (水野祥之) |           |                                    |                        |   |
| 第 7 幕          | 草刈<br>種蒔舞 | 豊作を祈願する。<br>(草刈をしてから種を蒔く)          | 井上利則・井上広行              | 大太鼓・鎌田日向 小太鼓・立崎総一<br>笛・大山吉幸・湯浅崇・清水敦・鎌田和恵・井上晴香   |
| 第 8 幕          | 獅子舞       | 盆の供養と雨乞祈願をする。<br>(獅子と獅子だましの舞)      | 石川博幸・阿部篤志<br>堀田泰広・鈴木公美 | 大太鼓・山崎亮 小太鼓・堀田龍馬<br>笛・大山吉幸・湯浅崇・佐々木章・堀田智子・市原聖奈   |

